

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

33号

2008.8.9 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 3月22日(土) ... 第10回萌木まつり / 定例活動
- 4月26日(土) ... 山根口竹の除伐&総会 / 定例活動
- 5月23日(土) ... 小屋周辺整備 / 定例活動
- 6月14日(土) ... 弥富相生山線の道路工事現場見学 / 特別活動
- 6月28日(土) ... トンボ池周辺整備 & ジャガイモ収穫 / 定例活動

3月定例活動

森くらぶ結成10周年記念 元祖柴刈り大会 —第10回萌木まつり—



平成10年3月22日に結成された相生山緑地オアシスの森くらぶ、記念すべきその日から数えてきっちり10年たった3月22日(土)に、第10回萌木まつりとして、活動の原点ともいえる「元祖柴刈り大会」を開催しました。山桜も満開で、ツツジの朱色と足もと

の紫色のタムラソウで早春の相生山は晴れの日を祝うお化粧をした里山となりました。



▲作業内容の説明を聞く参加者たち

一般の参加者に会員を含め約70人の参加を得て、つどいの広場の北側に広がる「花の小径」周辺でツツジの再生を行いました。真弓さんの作業説明の後、4班に分かれて枯れ松の整理、ツツジの日照を妨げるヒサカキなどの常緑樹の伐採に取り組みました。刈り取った樹木は剪定ばさみで小さく切って集め、虫などの住処となるようにしました。剪定ばさみでの作業は小さな子どもたちでも楽しくできるため、人気がありました。

昼になり、くらぶ自慢のトン汁と原木しいたけのしょうゆ焼きが振舞われました。特に村田さんのしいたけ焼きは小さな子どもに大人気で、「おいしい、おいしい。」と何度もおかわりをする子も出るほどで、やはり採り立て、焼きたての味のよさが分かるのだと思いました。当日飛び入り参加の名古屋高年大学の面々も作業と昼食を楽しんでいただけました。



▲しいたけ焼きの香ばしい薫りに誘われ自然と人が集まる

午後は、午前の作業のやりすぎで少々疲れ気味で、早めに作業を切り上げ、10周年の柴刈り大会を終えました。(大館)

柴刈り
作業中



作業後
すっきり
した林内

